

政治への関心 行動に

宗教者ネットなど院内集会

「平和を作り出す宗教者ネット」と「基地のない沖縄をめざす宗教者の集い」は18日、衆院第2議員会館で集

会を開き市民ら23人が集いました。「改憲問題対策法律家6団体連絡会」事務局長の大江京子弁護士が「通常国会における憲法審査会について」と題して講演しました。



大江弁護士の話を聞く市民ら18日、衆院第2議員会館

キリスト教平和ネット

トの渡辺多嘉子さんが「政治への関心を行動へ変えよう」とあいさつ。小山弘泉（こうせん）日本宗教者平和協議会常任理事・浄土真宗本願寺派僧侶が、任期中に改憲をやり遂げると繰り返し言及する、岸田文雄首相への危機感を示しました。大江氏は昨年3月の憲法審査会で、日本維新の会、国民民主党、有志の会のメンバーが発表した、緊急事態を理由に国会議員の任期延長を可能にする「任期延長改憲論」を「国民の選挙権をはく奪する改憲論」と批判。「憲法に武力攻撃（戦争）が明記され、内閣

の恣意（しい）的な判断で民主主義の根幹である国民の選挙権を停止できるようにする」と話しました。

2022年12月、岸田政権が閣議決定した安保3文書改定について大江氏は「（3文書の）改定だけでは『戦争する国』は未完成。憲法9条2項を無効化することこそが改憲派の真の狙いだ」と強調しました。